



PETボトル協議会
30年のあゆみ



PETボトル
再利用品

目 次

ご挨拶	1
30年主要年表	2
歴代役員・役職	4
会員名簿	8
30周年に寄せて	9
組織図	9

ご挨拶



PETボトル協議会
会長 麦倉 誠

PETボトル協議会はおかげさまで昨年の10月で設立30周年を迎えることができました。これもひとえに諸先輩ならびに会員諸氏および関係各位のご努力とご支援の賜物であり、深く感謝いたしております。

1977年に日本で初めてPETボトルが誕生し500mlのしょうゆボトルに採用されました。20年後の1997年には容器包装リサイクル法が施行され、今年で16年目に入りました。消費者、自治体、特定事業者の3主体がそれぞれの役割を果たすといったリサイクルシステムは、世界に類を見ないシステムであり、2011年度は回収率79.6%で世界の最高水準を維持しています。

2006年には容り法が改正、施行され、特定事業者には従来の再商品化義務だけでなく、市町村への資金拠出制度が加えられました。

2004年度を基準年として2010年度を目標年度とした第一次自主行動計画が策定され、皆さまのおかげをもちまして目標は達成されました。

また現在は新たに2015年度を目標年度とした第二次自主行動計画を策定、その目標に向かって活動しています。

一方、使用済みPETボトルの海外流出、価格変動等、国内のリサイクル基盤を脅かす問題が生じています。しかし昨年からメカニカルリサイクル材料を使用した飲料用PETボトルが発売され、ボトルtoボトル（BtoB）としてリサイクル材料の新たな用途が注目されています。循環社会に寄与するためには、このリサイクルシステムを堅持することが絶対条件として捉え、協会活動に邁進する所存です。

最後になりましたが、協会活動に携わられた諸先輩方のご努力に敬意を表するとともに、またご指導・ご支援・ご協力いただきました関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成25年2月

30年主要年表

※ 部分は会員の入会、退会を示す。

1967(昭和42)頃

- 米国デュボン社、PETボトルの基礎技術確立

1973(昭和48)

- 米国の化学者ナサニエル・ワイエスがPETボトル特許を取得

1974(昭和49)

- 12月 ●米国において炭酸飲料用に使用開始

1977(昭和52)

- 1月 ●日本において醤油500ml容器として使用開始

1982(昭和57)

- 2月 ●食品衛生法が改正されて清涼飲料用にPETボトル使用が認められる
- 日本で耐熱ボトルが開発される
- 10月 ●PETボトル協議会設立 正会員11社(事務所:港区虎ノ門)
[正会員入会]
鐘淵化学工業(株)、日本ユニベツト(株)、帝人(株)、三井ベツト樹脂(株)
ユニチカ(株)、井上エムテーピー(株)、大日本インキ化学工業(株)
ダイヤブロー(株)、東都成型(株)、東洋製罐(株)、(株)吉野工業所

1985(昭和60)

- 8月 ●酒類用(焼酎)容器として使用開始
- 10月 ●[正会員入会]
山村硝子(株)、富川化学工業(株)
- [賛助会員入会]
三菱商事(株)、三井物産(株)、ニチメン(株)、長瀬産業(株)
- 12月 ●[正会員入会]
(株)クラレ

1988(昭和63)

- 10月 ●[正会員入会]
大日本印刷(株)

1989(平成元年)

- 6月 ●[正会員入会]
北海製罐(株)
- 9月 ●[賛助会員入会]
丸紅(株)

1990(平成2)

- 4月 ●高知市、神奈川県伊勢原市でPETボトル回収実験開始
- 12月 ●[正会員入会]
凸版印刷(株)、三菱ガス化学(株)

1991(平成3)

- 神奈川県・秦野市・伊勢原市にて通産省モデルリサイクル実験開始
- 10月 ●[正会員入会]
電気化学工業(株)、長瀬産業(株)(賛助会員より変更)
- [賛助会員入会]
日精エイ・エス・ビー(株)
 - [正会員退会]
東都成型(株)

1992(平成4)

- 7月 ●WPR出資のため「PETボトルリサイクル事業組合」発足
- 10月 ●PETボトル用自主設計ガイドラインを通産省、農水省および大蔵省の指導のもとに飲料用、しょうゆ用について設定

1993(平成5)

- 1月 ●再商品化施設ウィズベツトボトルリサイクル株式会社を設立
- 6月 ●PETボトルリサイクル推進協議会設立(略称:推進協議会)
- PETボトルが再資源化法第二種指定製品に指定される
 - 飲料用、しょうゆ用PETボトルは識別マークを表示
- 9月 ●ウィズベツトボトルリサイクル(株)稼働
- PETボトルのリサイクルが本格的に開始

1994(平成6)

- 3月 ●PETボトル減容の推奨機種認定をPETボトル協議会が開始

1995(平成7)

- 4月 ●分別収集PETボトル受け入れガイドラインの施行
- 第二種指定PETボトル自主設計ガイドラインの改定
- 6月 ●容器包装リサイクル法(容リ法)成立
- 7月 ●神田鍛冶町へ独立事務所開設
- 9月 ●PETボトルリサイクル推奨マークの運用を開始
- 12月 ●推進協議会はPETボトルの再商品化工場構想(全国8工場)を発表

1996(平成8)

- 4月 ●(社)全国清涼飲料工業会が小型PETボトルの発売の自主規制を廃止
- 9月 ●(財)日本容器包装リサイクル協会が発足し、法に定められた再商品化業務に当る

1997(平成9)

- 4月 ●容器包装リサイクル法がPETボトルへも適用

1998(平成10)

- 3月 ●[賛助会員退会]
丸紅(株)
- 4月 ●西日本ベツトボトルリサイクル(株)稼働
- [正会員入会]
日本キャンパツク(株)
- 9月 ●日本橋堀留町へ事務所移転

1999(平成11)

- 4月 ●北海道ベツトボトルリサイクル(株)稼働
- 5月 ●[正会員入会]
日本コカ・コーラ(株)
- 7月 ●[正会員入会]
大和製罐(株)
- 10月 ●PETボトルの収集量に対して再商品化能力が不足(一時的なミスマツチ現象)

2000(平成12)

- 3月 ●「PETボトル分別収集の手引き」、「PETボトルの再商品化能力確保に関する調査研究報告書」の厚生労働省作成に参画
- 4月 ●容器包装リサイクル法が完全施行
- 東京ベツトボトルリサイクル(株)が稼働
 - [正会員退会]
カネボウ合繊(株)
 - [賛助会員入会]
ゲンゼ包装システム(株)、(株)フジシール
- 10月 ●[正会員入会]
パイオニア工業(株)、杉プラスチック工業(株)

※会員の社名変更については原則記載しておりませんが、以下の変更がありました。

鐘淵化学工業(株)→カネボウ合繊(株)、帝人(株)→帝人化成(株)、三井ベツト樹脂(株)→三井化学(株)→MCTベツトレジン(株)
井上エムテーピー(株)→(株)イノアツクコーポレーション、大日本インキ化学工業(株)→DICプラスチック(株)、ダイヤブロー(株)→三菱樹脂(株)
三菱商事(株)→三菱商事プラスチック(株)、ニチメン(株)→双日プラネット(株)、日本コカ・コーラ(株)→コカ・コーラ協会

2001(平成13)

- 4月 ●グリーン購入法施行
 - 指定PETボトルの自主設計ガイドラインの改訂(着色ボトルの廃止など)
 - ジャパンテック(株)、中京荷役(株)稼働
- [賛助会員入会]
丸紅テクノシステム(株)
- 5月 ●再商品化手法として化学分解法が認められる
- 9月 ●「PETボトルリサイクル年次報告書(2001年度版)発刊
- 12月 ●[賛助会員入会]
シーアイ化成(株)

2002(平成14)

- 4月 ●帝人ファイバー(株)が繊維向けに化学分解法によるリサイクルPETの生産開始
 - [賛助会員入会]
グンゼ(株)
- 7月 ●推進協議会和田会長が大木環境大臣と対談
- 12月 ●乳等省令の改正により、乳飲料へのPETボトルの使用が可能となる

2003(平成15)

- 4月 ●[賛助会員入会]
PETトレイ協議会
- 11月 ●帝人ファイバー(株)のボトルtoボトルプラントが稼働

2004(平成16)

- 中国輸出が増加
- 3月 ●食品安全委員会より化学分解法による再生PET容器包装が食品用容器包装として認められ、使用可能となる
- 4月 ●清涼飲料メーカーがボトルtoボトルによるPETボトル製品を上市
- 6月 ●推進協議会 豊田会長が小池環境大臣と対談
- 8月 ●容器包装リサイクル法の見直しの論議始まる
- 10月 ●「容器包装リサイクル法の見直しに関するヒヤリング」合同会合にて推進協議会の見解を発表、同時に記者説明会を開催
 - 現在の日本橋小伝馬町へ事務所移転

2005(平成17)

- 3月 ●「容器包装リサイクル法の見直しに関する意見書」経済産業省、環境省、農林水産省に提出し、それぞれの審議会等で資料として活用される
 - [正会員退会]
電気化学工業(株)、長瀬産業(株)
- 10月 ●(社)日本経済団体連合会は提言「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」を発表
- 12月 ●容器包装に係る八団体は「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」を発表

2006(平成18)

- 2月 ●指定法人にて使用済みPETボトルの有償入札が行われる
- 3月 ●容り法の一部改正が国会に上程される
 - 3R推進団体連絡会を結成し、自主行動計画を発表
- 6月 ●容器包装リサイクル法の一部改正法(改正容り法)成立
- 10月 ●「市町村に対し指定法人への円滑な引渡し」を求める要望書を送付
 - [正会員入会]
三菱商事プラスチック(株)(賛助会員より変更)

2007(平成19)

- 4月 ●[正会員入会]
三井物産(株)(賛助会員より変更)
- [賛助会員入会]
日本クラウンコルク(株)
- 10月 ●乳等省令が改正され、乳等一群食品(牛乳等)の容器にPETボトルが使用可能となる
 - 容り法の省令改正により市町村への資金拠出制度が新設される

2008(平成20)

- 2月 ●資源有効利用促進法が改正され、指定PETボトルに特定調味料が追加される
- 4月 ●[賛助会員入会]
(株)クレハ
- 10月 ●世界的金融危機のため使用済みPETボトルの国内外における価格が大幅に下落する

2009(平成21)

- 1月 ●緊急対策として指定法人は、追加入札および既存契約分の見直しを行う
- 3月 ●[正会員退会]
(株)クラレ
- [賛助会員退会]
日精エイ・エス・ビー(株)
- 4月 ●指定法人契約量が204千トンの史上最高量
- 5月 ●[正会員入会]
日本パリソン(株)
- 6月 ●2008年から実施された環境省「ペットボトルを始めとした容器包装のリユース・デポジット等の循環的な利用に関する研究会」でPETボトルのリユース使用の結論が出される
- 12月 ●PETくず輸出量史上最高396千トン記録

2010(平成22)

- 4月 ●指定法人引渡し量194千トンの史上最高量
- 9月 ●[賛助会員入会]
三井物産(株)(正会員より変更)
- 12月 ●PETくず輸出量衰えず390千トン

2011(平成23)

- 3月 ●3R団体連絡会「第二次自主行動計画」を発表
 - [正会員退会]
ユニチカ(株)
- 4月 ●ミネラルウォーターの緊急輸入に対応(マーク表示、言語、ボトル着色等)
 - 容り落札単価史上最高値(47.85円/kg)
 - [正会員入会]
(株)クレハ(賛助会員より変更)、
(三井化学(株)→MCTペットレジン(株))
 - [正会員退会]
帝人化成(株)
- 5月 ●メカニカルリサイクルのボトルtoボトル上市

2012(平成24)

- 2月 ●PETボトルリサイクル事業組合解散
- 4月 ●厚生労働省「食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関する食品衛生指針(ガイドライン)」が通達される
 - 指定法人ルート引渡し量、史上最高を更新(195千トン)
 - [賛助会員入会]
(株)クレハ(正会員より変更)
 - [正会員退会]
(株)イノアックコーポレーション
- 9月 ●[準正会員区分新設]
三菱商事プラスチック(株)(正会員より変更)、
三井物産(株)、双日プラネット(株)(2社賛助会員より変更)

歴代役員・役職

第Ⅰ期 リサイクル調査・研究

	1982～83年度 (昭和57年7月～昭和58年9月)	1983～84年度 (昭和58年10月～昭和60年3月)	1985年度 (昭和60年)	1986年度 (昭和61年)	1987年度 (昭和62年)
会 長	吉野工業所 木下 晴美	東洋製罐 野原 繁三	大日本化学工業 近藤 浩司	ダイヤブロー 加納 正純	東都成型 鈴木 倫敦
副 会 長	帝人 小田 克己	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	ユニチカ 藤林 貞夫	鐘淵化学工業 乾 佐太郎	日本ユニベツト 八星 孚
事 務 局 長	—	—	—	—	—
会 計 監 査	ダイヤブロー 広根 国衛	東都成型 鈴木 倫敦	井上エムテーピー 後藤 宗男	山村硝子 松井 宏仁	富川化学工業 岡本 昭二
技 術 W . G	吉野工業所 木下 晴美	大日本化学工業 近藤 浩司	東洋製罐 野原 繁三	帝人 吉村 雅夫	ダイヤブロー 富田 敏彦
調 査 W . G	日本ユニベツト 内田 庄平	帝人 向井 淳彦	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	吉野工業所 木下 晴美
広 報 W . G	帝人 向井 淳彦	吉野工業所 木下 晴美	吉野工業所 木下 晴美	吉野工業所 木下 晴美	クラレ 渡辺 俊一

第Ⅱ期 自主的なリサイクル

	1993年度 (平成5年)	1994年度 (平成6年)	1995年度 (平成7年)	1996年度 (平成8年)	1997年度 (平成9年)
会 長	東洋製罐 登坂 幸作	東洋製罐 登坂 幸作	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 峰村 清治	東洋製罐 木原 弘二
副 会 長	吉野工業所 吉野 祥一郎 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	吉野工業所 吉野 祥一郎 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 登坂 幸作 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 登坂 幸作 三井石油化学工業 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	吉野工業所 峰村 清治 三井石油化学工業 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平
専 務 理 事	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武
事 務 局 長	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修
事 務 局	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂
会 計 監 査	鐘淵化学工業 轟 庸蔵	鐘淵化学工業 轟 庸蔵	鐘淵化学工業 松本 英文	鐘淵化学工業 松本 英文	カネボウ合織 水野 貞男
企 画 委 員 会 委 員 長	三井ペット樹脂 劔持 武治	三井ペット樹脂 劔持 武治	東洋製罐 木原 弘二	東洋製罐 木原 弘二	吉野工業所 関 忠司
副 委 員 長	ユニチカ 矢野 良彦 東洋製罐 今岡 信房	ユニチカ 矢野 良彦 東洋製罐 今岡 信房	吉野工業所 峰村 清治 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 矢野 良彦	吉野工業所 峰村 清治 三井石油化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 齊藤 正昭	東洋製罐 森 章次 三井石油化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 長沢 次男
調 査・広 報 委 員 会 委 員 長	大日本印刷 大木 和夫	大日本印刷 牛尾 正勝	凸版印刷 麻生 邦彦	凸版印刷 柳沼 清一	凸版印刷 小川 和夫
副 委 員 長	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 木村 修司 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 中塚 一 長瀬産業 宮裡 和弘
技 術 委 員 会 委 員 長	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平
副 委 員 長	吉野工業所 串田 秀男 ダイヤブロー 野中 矩仁	吉野工業所 板倉 武 ダイヤブロー 野中 矩仁	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 長谷川 秀夫	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 長谷川 秀夫	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 吉井 靖
資 源 化 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 関 忠司
副 委 員 長	東洋製罐 今岡 信房 帝人 入江 修二	東洋製罐 今岡 信房 帝人 入江 修二	東洋製罐 今岡 信房 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 今岡 信房 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 森 章次 帝人 上田 隆夫
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 西出 順一	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典
副 委 員 長	吉野工業所 串田 秀男 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 齊藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 齊藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘
設 備 委 員 会 委 員 長	—	東洋製罐 鈴木 醇一	東洋製罐 鈴木 醇一	吉野工業所 細川 泰平	吉野工業所 細川 泰平
副 委 員 長	—	吉野工業所 細川 泰平	吉野工業所 細川 泰平	東洋製罐 谷道 行弘	東洋製罐 谷道 行弘

第Ⅲ期 容リ法に

	1988年度 (昭和63年)	1989年度 (平成元年)	1990年度 (平成2年)	1991年度 (平成3年)	1992年度 (平成4年)
会 長	吉野工業所 木下 晴美	東洋製罐 野原 繁三	大日本イン化学工業 須藤 秀介	大日本イン化学工業 須藤 秀介	ダイヤブロー 坂本 堅一
副 会 長	クラレ 島田 光雄	帝人 向井 淳彦	三井ペット樹脂 劔持 武治	ユニチカ 矢野 良彦 三井ペット樹脂 劔持 武治	ユニチカ 矢野 良彦 三井ペット樹脂 劔持 武治 大日本印刷 大木 和夫
事 務 局 長	クラレ 西野 安	帝人 上田 隆夫	三井ペット樹脂 西田 博	三井ペット樹脂 出川 幸雄	専任 三輪 玄修
会 計 監 査	井上エムテーピー 山上 貢	大日本印刷 中村 謙一郎	井上エムテーピー 浅岡 昌夫	山村硝子 松井 宏二	山村硝子 松井 宏仁
技 術 W . G	山村硝子 先水 孝之	日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 平田 貞夫	クラレ 中塚 一	クラレ 中塚 一
調 査 W . G	鐘淵化学工業 永井 潔	大日本イン化学工業 須藤 秀介	ユニチカ 藤林 貞夫	北海製罐 海住 鯨介	北海製罐 海住 鯨介
広 報 W . G	東洋製罐 野原 繁三	ダイヤブロー 広根 国衛	鐘淵化学工業 島 洋一	大日本印刷 大木 和夫	大日本印刷 大木 和夫
リサイクル推進 特別委員長	—	—	—	東洋製罐 野原 繁三	東洋製罐 野原 繁三
副 委 員 長	—	—	—	吉野工業所 中西 武 日本ユニベツト 八星 孚	吉野工業所 中西 武 日本ユニベツト 八星 孚
山一プロジェクト	—	—	—	—	三井ペット樹脂 劔持 武治

基づくリサイクル

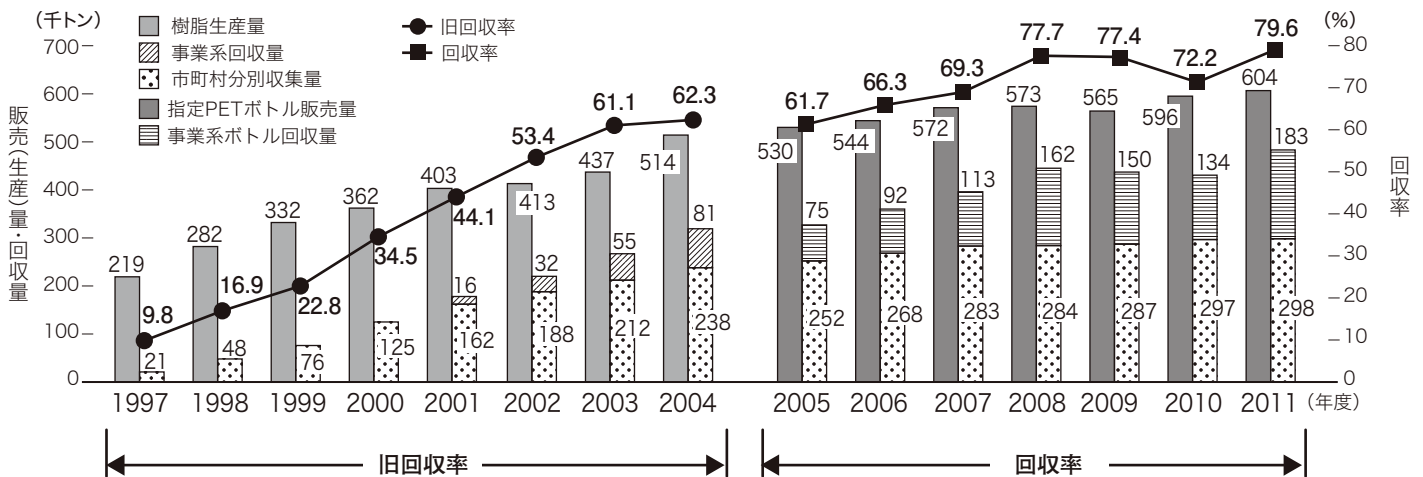
	1998年度 (平成10年)	1999年度 (平成11年)	2000年度 (平成12年)	2001年度 (平成13年)	2002年度 (平成14年)
会 長	東洋製罐 木原 弘二	吉野工業所 堀込 辰雄	吉野工業所 堀込 辰雄	東洋製罐 和田 國男	東洋製罐 和田 國男
副 会 長	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 森 章次 三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一	東洋製罐 森 章次 三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一
専 務 理 事	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一
事 務 局 長	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修
事 務 局	専任 坂東 茂 顧問 中西 武	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔
会 計 監 査	カネボウ合織 水野 貞男	カネボウ合織 下川 順造	三菱樹脂 馬場 健治	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 工藤 寛
企 画 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 堀込 辰雄	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次
副 委 員 長	東洋製罐 森 章次 三井化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 平野 高司	三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 平野 高司	三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 堀込 辰雄	三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 堀込 辰雄
調 査・広 報 委 員 会 委 員 長	北海製罐 奈良 一弘	北海製罐 東島 紘一	大日本印刷 長谷川 浩	大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一
副 委 員 長	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 北海製罐 東島 紘一	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 東島 紘一	大日本印刷 長谷川 浩 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 東島 紘一
技 術 委 員 会 委 員 長	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 永野 豊	三井化学 矢萩 正義	三井化学 矢萩 正義	帝人化成 米ノ井 章男
副 委 員 長	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 吉井 靖	吉野工業所 板倉 武 東洋製罐 杉本 毅	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 杉本 毅	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠
資 源 化 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司
副 委 員 長	東洋製罐 森 章次 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 宮川 洋志 帝人 岩田 啓一	東洋製罐 塚原 善樹 帝人 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹
副 委 員 長	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 斉藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義

歴代役員・役職

第Ⅳ期 容リ協に基づくリサイクル・充実

	2003年度 (平成15年)	2004年度 (平成16年)	2005年度 (平成17年)	2006年度 (平成18年)	2007年度 (平成19年)
会 長	吉野工業所 下谷 正彦	吉野工業所 豊田 保	東洋製罐 和田 國男	東洋製罐 中山 伊知郎	吉野工業所 服部 政夫
副 会 長	東洋製罐 森 章次 三井化学 出川 幸雄 日本ユニペット 吉見 健一	東洋製罐 森 章次 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 大股 健 日本ユニペット 深尾 年樹
専 務 理 事	専任 伊藤 勇	専任 伊藤 勇	専任 伊藤 勇	専任 松野 建治	専任 松野 建治
事 務 局 長	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二
事 務 局	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔	専任 元神 弘史	専任 元神 弘史
会 計 監 査	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 加藤 政男	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 豊田 正紀
企 画 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	吉野工業所 近藤 方人	吉野工業所 近藤 方人
副 委 員 長	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニペット 吉見 健一	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 町田 吉生 日本ユニペット 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 大股 健 日本ユニペット 深尾 年樹
調 査 ・ 広 報 委 員 会 委 員 長	クラレ 中塚 一	ユニチカ 加藤 耕作	ユニチカ 加藤 耕作	凸版印刷 横尾 耕一	凸版印刷 横尾 耕一
副 委 員 長	ユニチカ 吉原 寛 大日本印刷 長谷川 浩 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	ユニチカ 加藤 耕作 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	ユニチカ 加藤 耕作 大日本印刷 長谷川 浩 クラレレーティング 山越 聡 北海製罐 福澤 直俊
技 術 委 員 会 委 員 長	帝人化成 米ノ井 章男	東洋製罐 堀口 誠	東洋製罐 堀口 誠	日本ユニペット 渡辺 俊文	日本ユニペット 中村 隆
副 委 員 長	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠	日本ユニペット 越智 明宏 吉野工業所 小杉 昭和	日本ユニペット 渡辺 俊文 吉野工業所 小杉 昭和	吉野工業所 小杉 昭和 北海製罐 山下 裕二	吉野工業所 今井 利男
資 源 化 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司
副 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 森野 久和
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 高木 隆夫	東洋製罐 高木 隆夫
副 委 員 長	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 加藤 耕作 三井化学 守山 茂樹

PETボトルの回収率の推移



※千トン未満を四捨五入してあるため、合計数値があわない場合があります。

	2008年度 (平成20年)	2009年度 (平成21年)	2010年度 (平成22年)	2011年度 (平成23年)	2012年度 (平成24年)
会 長	吉野工業所 服部 政夫	東洋製罐 林 伸行	東洋製罐 林 伸行	吉野工業所 麦倉 誠	吉野工業所 麦倉 誠
副 会 長	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 野村 公生 日本ユニベツト 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 矢萩 正義 日本ユニベツト 鈴木 千多賀	吉野工業所 栗山 正 三井化学 加藤 洋三 日本ユニベツト 永江 一剛	東洋製罐 宮澤 哲夫 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 永江 一剛	東洋製罐 宮澤 哲夫 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行
専 務 理 事	専任 松野 建治	専任 松野 建治	専任 近藤 方人	専任 近藤 方人	専任 近藤 方人
事 務 局 長	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 矢萩 正義	専任 矢萩 正義	専任 矢萩 正義
事 務 局	専任 山田 和男	専任 山田 和男	専任 山田 和男	専任 戸川 陽一	専任 戸川 陽一
会 計 監 査	三菱樹脂 豊田 正紀	三菱樹脂 豊田 正紀	三菱樹脂 津山 晃一	三菱樹脂 津山 晃一	三菱樹脂 鮫島 拓也
企 画 委 員 会 長	吉野工業所 近藤 方人	吉野工業所 近藤 方人	東洋製罐 宮澤 哲夫	東洋製罐 宮澤 哲夫	東洋製罐 宮澤 哲夫
副 委 員 長	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 野村 公生 日本ユニベツト 深尾 年樹	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 矢萩 正義 日本ユニベツト 鈴木 千多賀	吉野工業所 栗山 正 三井化学 加藤 洋三 日本ユニベツト 永江 一剛	吉野工業所 栗山 正 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 永江 一剛	吉野工業所 栗山 正 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行
調 査 ・ 広 報 委 員 会 長	北海製罐 福澤 直俊	北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 中込 隆	大日本印刷 中込 隆	凸版印刷 横尾 耕一
副 委 員 長	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレレーテイング 山越 聡 ユニチカ 吉原 寛	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 中込 隆 ユニチカ 吉原 寛	凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊 ユニチカ 桜井 淳一	凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 中込 隆 北海製罐 福澤 直俊
技 術 委 員 会 長	吉野工業所 今井 利男	吉野工業所 今井 利男	三井化学 高橋 浩二	MCTベツトレヅン 高橋 浩二	北海製罐 福澤 直俊
副 委 員 長	三井化学 山野邊 聡	三井化学 矢萩 正義	北海製罐 福澤 直俊	北海製罐 福澤 直俊	東洋製罐 中町 浩司
資 源 化 委 員 会 長	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	(休会)
副 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 森野 久和	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 山田 昇一郎	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 山田 昇一郎	東洋製罐 塚原 善樹	
再 利 用 委 員 会 長	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫
PETボトル協議会 再利用委員会活動はPETボトルリサイクル推進協議会 回収・再利用促進委員会での活動とした。					
推 奨 マーク 認 定 委 員 会 長	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志
副 委 員 長	吉野工業所 平野 高司 三井化学 野村 公生 ユニチカ 吉原 寛	吉野工業所 平野 高司 三井化学 矢萩 正義 ユニチカ 吉原 寛	吉野工業所 平野 高司 三井化学 高橋 浩二 ユニチカ 桜井 淳一	吉野工業所 平野 高司 MCTベツトレヅン 小川 公博	吉野工業所 栗山 正

<計算式>

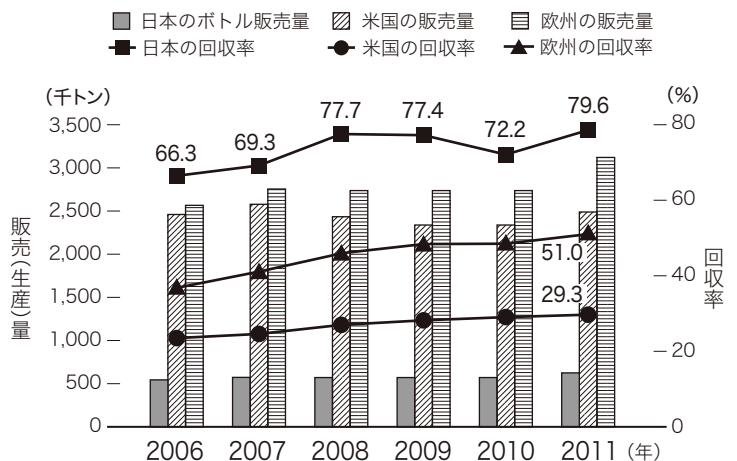
$$\text{旧回収率} = \frac{\text{市町村分別収集量} + \text{事業系回収量}}{\text{指定PETボトル用樹脂生産量}}$$

$$\text{回収率} = \frac{\text{市町村分別収集量} + \text{事業系ボトル回収量}}{\text{指定PETボトル販売量}}$$

(左記グラフ出所)

- 市町村分別収集量は環境省資料(2011年度は速報値)
- 事業系回収量・事業系ボトル回収量・指定PETボトル販売量はPETボトルリサイクル推進協議会資料
- 樹脂生産量は、指定PETボトル用樹脂の生産量。PETボトル協議会資料

日米欧のPETボトル回収率比較



(出所)○米国=NAPCOR ○欧州=PETCORE ○日本=PETボトルリサイクル推進協議会

会員名簿

(2013年2月現在)

正会員

会社名	所在地	代表者	代表電話
東洋製罐(株)	〒141-8640 東京都品川区東五反田2-18-1 大崎フォレストビルディング	金子 俊治	03-4514-2000
(株)吉野工業所	〒136-8531 東京都江東区大島3-2-6	吉野 祥一郎	03-3682-1141
MCTペットレジン(株)	〒105-7117 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター	宮入 信	03-6253-4451
日本ユニベットの(株)	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-10 上野ビル8階	吉川 正行	03-3662-2461
コカ・コーラ協会	〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー3階	末吉 紀雄	03-5410-4521
杉プラスチック工業(株)	〒830-0413 福岡県三潁郡大木町上牟田口748-1	杉 正	0944-33-1238
大日本印刷(株)	〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1	北島 義俊	03-3266-2111
大和製罐(株)	〒103-8240 東京都中央区日本橋2-1-10	山口 久一	03-3272-0561
DICプラスチック(株)	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階	豊嶋 潤一	048-658-8855
凸版印刷(株)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1	金子 眞吾	03-3835-5111
富川化学工業(株)	〒485-0059 愛知県小牧市小木東3-97	佐竹 圭介	0568-72-3215
(株)日本キャンバック	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル6階	木村 修二	03-3201-3181
日本バリソン(株)	〒306-0432 茨城県猿島郡境町大字下小橋880	森 隆弘	0280-87-8404
日本山村硝子(株)	〒660-8580 兵庫県尼崎市西向島町15-1	山村 幸治	06-4300-6000
パイオニア工業(株)	〒800-0115 北九州市門司区新門司1-9-2	秋山 武雄	093-481-6800
北海製罐(株)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル6階	田村 秀行	03-3213-5180
三菱ガス化学(株)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル	酒井 和夫	03-3283-5000
三菱樹脂(株)	〒100-8252 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	姥貝 卓美	03-6748-7400

準正会員

会社名	所在地	代表者	代表電話
双日プラネット(株)	〒100-8691 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング	田中 勤	03-6871-3000
三井物産(株)	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1	飯島 彰己	03-3285-1111
三菱商事プラスチック(株)	〒100-8350 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館11階	五十嵐 忠彦	03-6267-2600

賛助会員 (五十音順)

会社名	所在地	代表者	代表電話
(株)クレハ	〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2	小林 豊	03-3249-4666
グンゼ(株)	〒623-8511 京都府綾部市青野町膳所1	児玉 和	0773-42-3181
グンゼ包装システム(株)	〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-10 中尾ロイヤルビル7階	和田 健路	06-6394-6111
シーアイ化成(株)	〒104-8321 東京都中央区京橋1-18-1 八重洲宝町ビル	石塚 哲士	03-3535-4541
日本クラウンコルク(株)	〒141-0022 東京都品川区東五反田2-18-1 大崎フォレストビルディング18F	辻広 康雄	03-4514-2150
(株)フジシール	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル	園田 隆人	03-5208-5900
PETトレイ協議会	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-8 アオパビル8F	小松 安弘	03-5614-6566
丸紅テクノシステム(株)	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル	横山 哲郎	03-5283-1200

PETボトル協議会設立30周年に寄せて

PETボトル協議会 専務理事 近藤 方人

この3年間にわたって事務局を預らせていただき、毎日のように感じておりましたのは、30有余年前からの緒先輩方の卓越した見識と誠意によってつくり上げられてきた、PETボトルの回収から再商品化にわたっての完成度の高いシステムとその有り難さです。

おかげさまでこれを財産として現在の仕事が滞りなく進行し、社会的評価を得ています。

このことは、使用済みPETボトルの回収資源としての価値を高めるといふことであつたと言い換えることも出来るでしょう。

回収された使用済みPETボトルは2006年に逆有償から有償に転じ、今や制度的にも市況経済に委ねることの出来るほんの一步手前に至っているように思われます。

PETボトルのこれからは、この市況経済との折り合いと、これまで作り上げてきたシステムの安定度をどのように維持発展させていくかに掛かっています。

PETボトル協議会にて今ひとつ特筆させていただきたいのは、会員の皆さまの結束の確かさです。

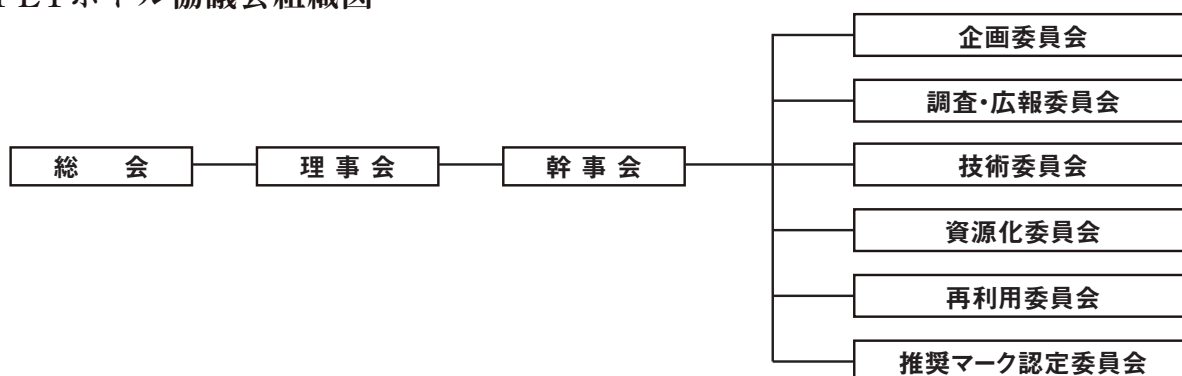
本日の30周年行事を迎えるに際しましても、しかるべき方々が自然にお集まりいただき、設立30周年実行委員会を立ち上げることができました。

この結束力をもってすれば今後の協議会運営に懸念はありませんし、社会に対してお役目を立派に果たしていけるものと確信いたしております。

諸先輩方への御礼として感じますところを述べさせていただきました。

今後とも協議会活動への尚一層のご関心とご協力をお願い申し上げます。

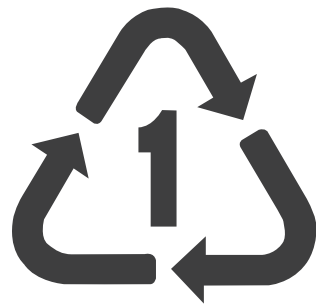
PETボトル協議会組織図



PETボトル協議会

〒103-0012 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル2階
TEL. 03-3662-7591 FAX. 03-5623-2885
URL <http://www.petbottle-rec.gr.jp>

2013年2月20日発行



PET